

「タイムシフト視聴」のすすめ

酒井 寿紀

「リアルタイム視聴」から 「タイムシフト視聴」へ

従来、テレビを見るにはその時放送されているものを見るしかなかった。つまり「リアルタイム視聴」である。しかし、ビデオ・テープ・レコーダー(VTR)が出現して、これが変わった。テレビの放映時間に見られないときは、録画しておいて後で見るようになった。視聴時間を自分の都合に合わせてずらすわけで、「タイムシフト視聴」である。

VTR はその名の通り記録媒体にテープを使うので、いっぺんに多数の番組を録画することはできない。そして、録画された番組の中から見たいものを捜すのが面倒だ。しかし、これらの問題は HDD^{*}レコーダーの出現で解決した。現在日本で DVD^{**}レコーダーとして販売されているものは、DVD にも HDD にも録画できるものが多いが、テレビの視聴方法に大きなインパクトを与えたのは HDD に録画する機能である。この機能を使って、例えば、週末に次の1週間の見たい番組の録画を予約しておけば、都合がいい時にそれを見ることができる。そして、わずらわしいテープの操作も要らない。

こういう視聴方法をさらに便利にするため、EPG (Electronic Program Guide: 電子番組ガイド) というものが出現した。テレビ電波の隙間を使って何日分かの番組表が送られ、それをテレビの画面で見て、リモコンで予約する。もはやわずらわしい8桁のGコードを入力することもない。ケーブル・テレビでも、EPG を使って何十チャンネルもある番組の中

から録画を予約することができる。こうしてタイムシフト視聴は第2世代に入った。

タイムシフト視聴の普及で テレビ番組の質が向上!?

タイムシフトで視聴すれば、テレビの放映時間に縛られることなく、見たいときに見て、いつでも中断できる。途中で電話がかかってくる、宅配便の配達に来たりしても、ドラマの山場を見逃さずに済む。また、聞き漏らしたところを聞き直したり、コマーシャルをとばしたりすることも自由だ。

リアルタイム視聴では、現在放映中の番組の中から選ぶしかないので、チャンネル数が何十もあるケーブル・テレビの利用価値は限られる。しかし、タイムシフト視聴なら、できるだけ多くの番組の中から選びたいくなるので、タイムシフト視聴の普及に伴ってケーブル・テレビの需要も増えると思われる。

そして、タイムシフト視聴が増えればテレビ番組も影響を受けるだろう。ニュース、スポーツ中継、ワイドショーなどは、主としてリアルタイム視聴向けの番組として現在のまま残るだろう。しかし、ドキュメンタリーやドラマはタイムシフトで視聴する人が増えるので、競争相手が増え、質の高いものしか視聴されなくなるだろう。そのため、番組制作者はカネをかけて番組の質を上げるようになるだろう。

テレビ番組の質の向上のためにも「タイムシフトで見よう!」

(酒井 IT ビジネス研究所)

^{*}, ^{**} DVD (Digital Versatile Disc: デジタル多目的ディスク), HDD (Hard Disk Drive: 磁気ディスク装置)。

DVD レコーダーは VTR と同じように記録媒体の交換が可能だが、HDD レコーダーは媒体の交換が不可能。